

公表: 令和3年12月1日

事業所名 地域生活支援センター「える」

配布数: 8

回答数: 6

回収率: 75%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点 |
|-------------|----|---|------|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 83% | 17% | 0% | ・指定要件より倍近く広い |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 67% | 33% | 0% | ・設置基準(2名)に加えて、加配分の職員も配置し3名以上の職員配置も行っている |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 67% | 33% | 0% | ・スロープや段差の無い広いトイレ |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 83% | 17% | 0% | ・毎月職員会議の実施 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 67% | 33% | 0% | ・保護者アンケートの実施 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | 0% | 0% | ・法人ホームページへの掲載 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 17% | 50% | 33% | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 67% | 33% | 0% | ・新任研修、新任フォローアップと法人内の研修体験がある |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 83% | 17% | 0% | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 67% | 33% | 0% | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 67% | 33% | 0% | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 100% | 0% | 0% | ・利用児に合った適切な活動が提供できていると思う |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 83% | 17% | 0% | ・曜日のクラスごとに当日の参加児に合わせて設定されている |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 83% | 17% | 0% | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 83% | 17% | 0% | ・送迎の為難しい日もある |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 67% | 33% | 0% | ・特に非常勤さんとはしっかり確認するようにしている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | ・パソコンでの記録に変更した |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点 |
|----------------------|----|--|------|---------------|-----|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | 0% | 0% | ・毎年度クラスの再編成を行っている |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 60% | 40% | 0% | ・一日利用の際には午前午後それぞれに1, 2つの活動設定をしている。 |
| 関係機関 や保護者との 連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 80% | 20% | 0% | ・児童発達管理責任者と必要に応じて担当職員も参加する。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 80% | 20% | 0% | ・月間予定表を配布下さる学校や、桜の丘は最近メールにて情報共有が始まった。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 80% | 20% | 0% | ・医療ケアは行えないが、必要な点は医師の指示書などで対応している。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 80% | 20% | 0% | ・書面での提出をお願いしている。 ・必要に応じて事業所間でも保護者の承諾を得て共有している。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 40% | 60% | 0% | ・実績はありませんが、保護者の希望や事業所からの希望があればもちろん、引継ぎ含めて対応します。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 100% | 0% | 0% | ・稲城市にはセンターはありませんが、稲城市独自の取り組みのマルシェいなぎとの連携はあります。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 20% | 0% | 80% | ・地域の行事へ過去参加していた。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 100% | 0% | 0% | ・法人としてずっと参画している。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | 0% | 0% | ・連絡帳、送迎時引継ぎ、必要な方とは電話での個別のやりとりなど |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 60% | 40% | 0% | ・家庭で対応に苦慮している場合は個別面談の際に関係機関への連携(発達支援室・マルシェなど) |
| 保護者への 説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・利用開始前の説明会の段階から説明を行った上、利用契約時に更に確認しています |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・連絡帳引継ぎ、必要に応じて電話や個別面談など行っている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0% | 20% | 80% | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点 |
|---------|----|---|------|---------------|-----|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | 0% | 0% | ・苦情対応は法人の苦情解決の仕組みにのっとり、局長への報告指示指導の元対応しています。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 100% | 0% | 0% | ・える便り、正夢通信の配布 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 100% | 0% | 0% | ・職員全員誓約書の提出、個人情報保護規定、外部への情報提供(画像含め)同意を頂いています。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | 0% | 0% | ・絵カード、スケジュール、指示書(画像、イラスト)など行っている |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 50% | 33% | 17% | ・事業所としてはないが、法人としては行っている |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 50% | 50% | 0% | ・現在整備中の物もあるが一通りマニュアルファイルに保存してある |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 67% | 33% | 0% | ・事業所全体として行っている |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | 0% | 0% | ・「える」会議内にて虐待防止委員会としての研修や話し合いをしている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 100% | 0% | 0% | ・虐待防止マニュアルにて定めている |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 100% | 0% | 0% | ・毎年登録票を更新する際に保護者に確認している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 83% | 17% | 0% | ・インシデントアクシデントレポート作成及び、「える」会議での振り返り |